

令和5年度 沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター業務方針

令和5年4月26日 作成

I 組織プロフィール

1 組織の目的・役割

「いわて県民計画（2019～2028）」の「沿岸広域振興圏 地域振興プラン（令和5年度～令和8年度）」を推進するため、次の3点を重点施策として推進します。

- (1) 復旧・復興事業（ハード）を1日も早く完成させ、東日本大震災津波の教訓を伝えます
- (2) 自然災害に強いまちづくりを進めます
- (3) 産業振興に寄与する社会基盤の整備と適切な維持管理を進めます

2 組織の主要な価値提供先（顧客）やビジネスパートナー

- (1) 価値提供先（顧客）：地域住民、地域内の企業・団体、地域への訪問者、市町
- (2) ビジネスパートナー：市町、国、建設関連企業、地域内の住民・団体

3 主要な価値提供先（顧客）ごとの提供すべき価値

主要な価値提供先（顧客）に対して、共通して以下の価値を提供します。

- (1) 復旧・復興事業（ハード）の一日でも早い完成と東日本大震災津波の教訓の伝承
- (2) 自然災害に強いまちづくり
- (3) 産業振興に寄与する社会基盤
- (4) 適正に維持管理されている社会資本

4 組織や業務を取り巻く環境とその変化

- (1) 東日本大震災津波から12年が経過しており、建設中の防潮堤などの社会資本の一日も早い完成が強く望まれています。一方で、風化が懸念され、教訓の伝承や復興情報の発信が強く望まれています。
- (2) 激甚化・頻発化する自然災害に対し、国土強靱化と社会資本の機能の維持が強く望まれています。
- (3) 復興後の地域経済・産業の振興のため、道路及び港湾の整備と利活用を強く期待されています。
- (4) 主要なビジネスパートナーである建設関連企業の人材確保が大きな課題となっています。
- (5) 組織には働き方改革の実現と、組織および個人の能力向上が必要とされています。
- (6) 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた支援の継続、業務の推進が必要とされています。

「岩手県職員憲章」を
具体的な行動に結び付ける
取組の視点

【県民本位】

- ・ 常に問題意識を持ち、困っていることを見逃しません。
- ・ 綿密な連携には、タイムリーな情報共有と丁寧な説明が不可欠です。

【能力向上】

- ・ 自身の業務について、自身でQ&Aを重ねて理解を深めます。

【明朗快活】

- ・ お互いに思いやり・おもてなし・挨拶を大事にし、話しやすい職場環境をつくります。

【法令順守】

- ・ 業務は組織として行います。
- ・ コンプライアンスを常に意識し、公正・公平な姿勢を忘れず、適正な事務手続きに取り組みます。

【地域意識】

- ・ 社会貢献活動や地域活動に参加します。

II 本年度の業務運営方針

1 業務における主要課題

(1) 復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
① 復興まちづくりの基盤整備 ・津波防災施設の整備延長 (km)〔累計〕 <table border="1" data-bbox="224 499 757 667"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.2</td> <td>15.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	13.2	15.4		野々田地区海岸ほか(普金防潮堤) 〈現状と課題〉 施工ヤードが狭小で交通量が多い道路際での施工や、陸閘設置と市道嵩上げ等があることから、継続して関係者と施工時期を調整しながら工事を進める必要がある。 〈今年度の取組内容〉 【国庫】 内容：防潮堤工事 時期：R6.3 完成予定	復興まちづくり課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
13.2	15.4							

【関連項目】

(1) 復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます

項目／達成レベル・目標	現状と課題・今年度の取組内容	担当						
<p>① 海岸水門などの遠隔操作化箇所数 ・自動閉鎖システムの運用開始箇所数 〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="224 499 757 667"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>45</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	26	45		<p>陸閘自動閉鎖システム整備</p> <p>〈現状と課題〉 土木工事完了後の現地施工となるため、施工時期の調整が必要。</p> <p>〈今年度の取組内容〉 内容：自動閉鎖システム整備 永浜地区 1基 普金地区 3基</p> <p>時期 永浜地区 R5 上半期運用開始予定 普金地区 R6.3 運用開始予定</p>	復興まちづくり課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
26	45							
<p>② 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報 発信 ・高田松原津波復興祈念公園における SNS を活用した情報発信回数（回）</p> <table border="1" data-bbox="224 1102 757 1270"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>19</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	11	19		<p>〈現状と課題〉 ・公園で活動する団体と連携し、利活用の促進を図りつつ、復興の 姿を情報発信していく取組が必要。</p> <p>【R4】：15回（集計 Instagram） （R3.12月 Instagram、Twitter 開設） （R4.10月 Facebook 開設）</p> <p>〈今年度の取組内容〉【－】 ・公園で実施される様々な活動やイベント等を、SNS など様々な機 会・手段を組み合わせ、効果的に情報発信。</p>	復興まちづくり課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
11	19							

(2) 自然災害に強いまちづくりを進めます

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>① 災害に強い道路ネットワークの構築 ・緊急輸送道路における耐震化完了橋梁数 (橋)〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="224 443 757 612"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	8	9		<p>〈現状と課題〉 近年、全国で豪雨や台風に伴う災害が激甚化、頻発化しており、沿岸圏域でも平成28年台風第10号による豪雨災害では、国道106号、国道455等の緊急輸送道路各地で寸断され、救援物資の輸送や緊急搬送などに支障が発生したことから、これら通行危険個所の解消が必要。</p> <p>〈今年度の取組内容〉【国庫】 内容：橋梁耐震化の推進 (主)大船渡綾里三陸線 轆轤石橋(大船渡市)耐震補強設計の推進 時期：R5.4月着手予定</p>	道路整備課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
8	9							
<p>② 洪水・土砂災害対策の推進や津波災害対策の推進 ・県管理河川における水位周知河川の指定 河川数(河川)〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="224 1099 757 1268"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	4	5		<p>〈現状と課題〉 ・水位周知河川の指定、洪水に係る情報提供の充実強化については、計画的に指定が進捗。 ・河川改修、河道掘削、立ち木伐採の推進については、定期的な工程管理、フォローアップを実施。</p> <p>〈今年度の取組内容〉【本庁】 ・水位周知河川の指定 【R4】浦浜川(大船渡市) 【R5】年度指定予定なし ・河川改修、河道掘削、立ち木伐採の推進</p>	河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
4	5							

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>・ 県管理河川における洪水浸水想定区域の指定河川数（河川）〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="221 333 754 501"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	5	7		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水浸水想定区域の指定、洪水に係る情報提供では、計画的に指定が進捗。 充実強化について <p>〈今年度の取組内容〉【本庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水浸水想定区域の指定 <ul style="list-style-type: none"> 【R4】 鷹生川（大船渡市） 【R5】 浦浜川（大船渡市） 	河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
5	7							
<p>・ 砂防・急傾斜地崩壊対策事業完了箇所数（箇所）〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="221 772 754 940"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	2	3		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害の激甚化、頻発化。 ・ ハード対策、ソフト施策の推進が必要。 <p>〈今年度の取組内容〉【国庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂防・急傾斜地崩壊対策施設の事業推進〔下船渡（砂防：大船渡市）、神明前（急傾斜：陸前高田市）〕 ・ 砂防・急傾斜地崩壊対策施設の完了箇所数 <ul style="list-style-type: none"> 【R4】 金成沢（砂防：住田町） 【R5】 年度完了予定なし 	河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
2	3							

【関連項目】

(2) 自然災害に強いまちづくりを進めます

項目／達成レベル・目標	現状と課題・今年度の取組内容	担当						
<p>② 洪水・土砂災害対策の推進や津波災害対策の推進</p> <p>・流域治水プロジェクトの計画策定数 〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="221 499 757 667"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	1	1		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3 年度にモデル水系として気仙川水系流域治水プロジェクトを策定 ・流域治水の全県展開に向けた取組が必要 <p>〈今年度の取組内容〉【-】</p> <p>内容：大船渡管内全域を対象とした流域治水プロジェクトとして再策定</p> <p>時期：R5.8月策定予定</p>	河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
1	1							
<p>・土砂災害基礎調査の実施箇所数（新たな「土砂災害が発生するおそれがある箇所」分） 〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="221 994 757 1161"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>155</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	0	155		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな「土砂災害が発生するおそれがある箇所」R4.9月公表を踏まえ、新規箇所の基礎調査が必要。 <p>〈今年度の取組内容〉【国庫】</p> <p>内容：砂防基盤図作成、基礎調査</p> <p>時期：契約済（R5年度分）</p>	河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
0	155							

(3) 安全で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります

項目／達成レベル・目標	状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>② 生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理</p> <p>・ 汚水処理人口普及率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="203 443 736 612"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.1</td> <td>82.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	73.1	82.3		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸圏域の汚水処理人口普及率は県全体の 84.4%を下回り、整備の促進が必要。 <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 汚水処理施設の整備・水洗化の促進 【R4】 R5 年 8 月頃の公表。 ② 生活に密着した道路環境の整備 	<p>土木技術企画</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
73.1	82.3							
<p>・ 社会資本の維持管理を行う協働団体数 (団体)</p> <table border="1" data-bbox="203 826 736 995"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>28</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	28	28		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路や河川・海岸の維持管理における住民との協働 <p>【R4】 : 道路 16 団体 河川 12 団体</p> <p>〈今年度の取組内容〉【県単】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民協働による維持管理推進のため、協働団体数を確保。 ・ ホームページやチラシを活用し、地域の自治会等に協働についての情報を提供し広報に努める。 	<p>道路整備課 河川港湾課</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
28	28							

(4) 生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>③ 三陸地域の産業を担う人材の育成</p> <p>・ 県営建設工事における週休二日工事の実施割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="203 443 736 612"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71.0</td> <td>91.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	71.0	91.0		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸圏域の建設業では、就業者の高齢化が進み、離職者の増加が見込まれる。 ・ 担い手の不足とそれに伴う技術力や生産性の低下が懸念。 <p>〈今年度の取組内容〉</p> <p>① 週休二日工事の推進</p>	<p>土木技術企画</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
71.0	91.0							

(5) 整備が進む社会基盤を産業振興に生かします

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>① 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化</p> <p>・観光地へのアクセス道路の整備延長(km)〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="221 497 754 665"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.1</td> <td>3.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	3.1	3.1		<p>〈現状と課題〉</p> <p>三陸沿岸道路の全線開通など沿岸圏域を取り巻く道路の整備が大きく進展。</p> <p>本県が建設候補地として選定されている国際リニアコライダー(ILC)の県内誘致が実現した祭は、大型部品の陸揚げ等の物流拠点として県内港湾の活用が期待されていることから、物流の基盤となる道路整備が必要。</p> <p>〈今年度の取組内容〉</p> <p>内容：物流の基盤となる道路整備の推進【国庫】</p> <p>1 (国)107号 白石峠(大船渡市・住田町) 地質調査</p> <p>2 (主)大船渡綾里三陸線 中曽根(大船渡市) 用地取得、物件補償</p> <p>3 (一)釜石住田線 中埴(住田町) 用地測量</p> <p>時期：1 R5.7月着手予定 2 R5.6月着手予定 3 R5.12月着手予定</p>	<p>道路整備課</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
3.1	3.1							

項目／達成レベル・目標	現状と課題 今年度の取組内容	担当						
<p>② 物流の高度化に向けた港湾機能の充実とポートセールスの推進</p> <p>・コンテナ貨物取扱数（実入）（TEU）</p> <table border="1" data-bbox="221 443 754 611"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,352</td> <td>4,200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	3,352	4,200		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性や利便性を向上させる港湾施設の機能拡充。電気防食工事を推進。 ・関係者との協議調整、関係市町村と連携したポートセールスの取組が必要。 <p>【R4】：2,995</p> <p>〈今年度の取組内容〉【国庫】</p> <p>内容：電気防食工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ：港湾利用者調整会議の開催 <p>時期：茶屋前工区契約済。野々田、永浜、清水工区は上半期発注予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ：港湾利用者調整会議を月例で実施予定 	<p>管理課 河川港湾課</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
3,352	4,200							
<p>・クルーズ船寄港数（回）</p> <table border="1" data-bbox="221 1043 754 1211"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R5)</th> <th>実績値 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	1	1		<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村と連携したクルーズ船社へのポートセールス。 <p>〈今年度の取組内容〉【本庁】</p> <p>内容：クルーズ船寄港</p>	<p>管理課 河川港湾課</p>
現状値 (R3)	目標値 (R5)	実績値 (R5)						
1	1							

2 組織運営課題

(1) 働き方改革の実現

項目	実施内容等	・業務見直し、業務効率化に係る指標及び目標値									
・業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・所内の業務バランスを見ながら、必要に応じて担当の見直し等による業務の平準化に取り組みます。 ・外部との会議や打ち合わせをリモートで行い、業務の効率化に取り組みます。 ・会議等における紙資料のペーパーレス化を進めます。 ・行政手続きや業務情報など適切なタイミングで発信し、県民への理解の促進を図ります。 	・事業の進め方に関する視点									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R5 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部との WEB 会議等の回数</td> <td>55 回（R4）</td> <td>66 回（2 割増）</td> </tr> <tr> <td>複写枚数（又は紙使用量）</td> <td>986,340 枚（R2）</td> <td>690,400 枚（△30%）</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値	外部との WEB 会議等の回数	55 回（R4）	66 回（2 割増）	複写枚数（又は紙使用量）	986,340 枚（R2）	690,400 枚（△30%）
指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値									
外部との WEB 会議等の回数	55 回（R4）	66 回（2 割増）									
複写枚数（又は紙使用量）	986,340 枚（R2）	690,400 枚（△30%）									
・ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務の縮減として、週 1 回以上の定時退庁「か・えるの日」の実施に取り組みます。 ・休暇取得の促進として、夏季休暇の完全取得、年間 5 日以上の子次休暇取得に努めます。 ・職員ひとりひとりが心身の健康保持に努めるとともに、お互いに思いやりを大事にして話しやすい職場環境づくりに取り組みます。 	・県民サービス向上に関する視点									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R5 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務情報発信</td> <td>92 件（R4）</td> <td>101 件（+10%）</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値	業務情報発信	92 件（R4）	101 件（+10%）			
指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値									
業務情報発信	92 件（R4）	101 件（+10%）									
		・働き方改革の推進に関する視点									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R5 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超過勤務時間（前年比削減時間）</td> <td>240.1 時間/人（R4）</td> <td>228.1 時間/人（△5%）</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値	超過勤務時間（前年比削減時間）	240.1 時間/人（R4）	228.1 時間/人（△5%）			
指標名	基準値（基準年度）	R5 目標値									
超過勤務時間（前年比削減時間）	240.1 時間/人（R4）	228.1 時間/人（△5%）									

(2) 内部統制

内部統制の目的を達成するための年間取組目標	
年間取組目標	目標を達成するための具体的方策
自己点検で判明した不適正及び軽微な事項の再発防止	過年度の自己点検で判明した不適正な改善事項等を再び繰り返すことのないよう、チーム内副担当でのチェックを義務化するなど、組織的に取り組む。

(3) その他業務推進に当たっての組織運営上の基本姿勢・行動指針等

項目	実施内容等
組織と職員の社会的責任	<ul style="list-style-type: none">・ 毎月のコンプライアンス確立の日に所属長訓示や職員スピーチを実施し、コンプライアンス意識の醸成と徹底を図る。併せて、交通安全研修の受講等により交通安全の徹底を図る。・ 職員全体会議等で組織の危機管理体制について説明するとともに、操作研修等の取組を活用し、危機管理意識の醸成と徹底を図る。
個人と組織の能力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 研修や講習の情報を共有するとともに参加を促すことなどにより、能力向上に取り組みやすい職場環境づくりに取り組む。・ 伝達研修等を通じて、ひとりひとりの能力向上を組織全体の能力向上に結び付けていく。・ 毎月のコンプライアンス確立の日の所属長訓示や日常のOJTを通じて、常に「よく考える」姿勢を身に付けていく。